北陸地方建設事業推進協議会

平成28年度 「建設技術報告会」

実 施 報 告 書

平成28年12月

北陸地方建設事業推進協議会 「建設技術報告会」実行委員会

一 目 次 一

1.	開催概要		
		目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	2)	開催日時 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
	3)	開催場所・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
	4)	構成と報告時間 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
	5)	報告技術のテーマ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
		主催構成機関及び実行委員会構成員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	7)	聴講者数及び聴講者数の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
2	実施内容		
۷.		闘会者 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
	2)	開会式 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	6
		基調講演 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
		技術パネル等展示コーナー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
		NETIS 等パンフレット紹介コーナー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
		CPD/CPDS認証プログラム ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
		閉会式	
3	準備及び運	· 设置	
Ο.		:p ikip スケジュール ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	12
		主な経緯・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
		運営体制 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
		会場設営 ····································	
	-L- +n		
4.	広報 1、	」 広報活動 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	17
		ム報活動 広報等掲載一覧 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	2)	<u> </u>	1 /
5.	アンケート		
		設問内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2	
		配布・回収 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
		アンケート結果概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2	
	4)	設問別集計結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	24

1. 開催概要

1)目的

「建設技術報告会」は、北陸地方における建設事業の円滑な推進を図るため、官公庁及び民間の建設会社において、新たに研究開発された新技術、新工法等を報告することにより、研究開発技術の普及を図る事を目的に開催されました。

本報告会は、平成7年度から開催され、今回で21回目の開催となりました。

2)開催日時

■平成28年10月19日(水) 9時30分~16時40分

●受 付

9時00分~

〔ホール棟 1 階 ホワイエ〕

●開 会 式

9時30分~ 9時40分 第1会場〔ホール棟1階 ホール〕 開会挨拶 北陸地方整備局 企画部長 渡辺 学

●技術報告(分科会方式)

9時50分~15時15分

第1会場 〔ホール棟 1階 ホール〕

第2会場 〔会議·展示棟 2階 大集会室〕

●基調講演

15時25分~16時25分 第1会場 [ホール棟 1階 ホール]

演 題 ICT 建機による建設現場の新しい生産性向上方法

講演者 コマツ 執行役員 スマートコンストラクション推進本部長

兼 コマツレンタル株式会社 代表取締役会長

四家 千佳史 氏

●閉 会 式

16時30分~16時40分 第1会場〔ホール棟1階 ホール〕 総評、閉会挨拶 平成28年度「建設技術報告会」実行委員長 佐藤 正之 (北陸地方整備局 北陸技術事務所長)

閉会式終了後の16時40分から ホール棟 1階 ホワイエ で「CPD/CPDS」の受講証明書の発行を行いました。

3)開催場所

■会場施設

金沢市文化ホール

住 所: 〒920-0864 金沢市高岡町 15番1号

TEL: Tel 076-223-1221

URL: http://www.bunka-h.gr.jp/

■交通アクセス

- ◆JR金沢駅から
 - ・タクシーで約10分
 - ・バス約15分(金沢駅前(東口バスターミナル)3番・ 8~11番のりば「南町・尾山神社」下車 徒歩約3分)
- ◆小松空港から
 - ・空港連絡バスで JR 金沢駅まで約 40 分 JR 金沢駅より 上記路線バスに乗換後、約 15 分

※来場者用駐車場無し。 (周辺有料駐車場を利用)



■使用会場

●ホール ホール棟 1 階 第 1 会場: 開会式·基調講演·技術報告・閉会式

聴講席:800席

●大集会室 会議·展示棟 2階 第2会場:技術報告

<u> 聴講席:209席</u>

●ホワイエ ホール棟 1 階 技術パネル等展示コーナー

大集会室前ホール 会議・展示棟 2階 NETIS 等パンフレット紹介コーナー(ホワイエのみ)

●楽屋1・楽屋2 ホール棟 1階 講師・来賓・事務局・運営スタッフ控室

4) 構成と報告時間

基調講演と技術報告の2部構成とし、技術報告は2会場の分科会方式とした。

報告時間は「発表者入替」「プレゼンデータ立ち上げ」「質疑応答」を含めて1技術15分とし、1技術の報告終了毎に概ね3分間の質疑・応答時間を設けた。

■第1会場:ホール〔ホール棟1階〕



■第2会場:大集会室〔会議・展示棟2階〕



- 2

5)報告技術のテーマ

今年度より \underline{r} マ③に副題として"i-Construction"を加え、6テーマの分類により合計31技術の技術報告を行った。テーマ別報告技術数は以下のとおりである。

① 社会資本の的確な維持管理・更新 8 題 (維持管理、長寿命化、更新に関する新技術 等)

② 雪に強い地域づくり 4題 (克雪対策、冬期道路交通の安全確保・安全性に関する新技術等)

③ 良いものを安く(i-Construction) 7題 (生産性向上、コスト縮減、省力化、情報化に関する新技術等)

④ 自然災害からの安全確保 5 題 (危機管理、土石流などの防災に関する新技術等)

⑤ 環境の保全と創造 4題 (建設副産物、リサイクル、省エネルギー、再生可能エネルギーに関する新技術等)

⑥ その他(その他①~⑤に属さない新技術等)

6) 主催構成機関及び実行委員会構成員

■主催構成機関

主催は、『北陸地方建設事業推進協議会 平成28年度「建設技術報告会」実行委員会』である。 以下に実行委員会の構成機関(23機関)を示す。

北陸地方整備局/新潟県/富山県/石川県/新潟市/東日本高速道路(株)新潟支社/

中日本高速道路(株)金沢支社/(一社)日本建設業連合会北陸支部/

- (一社)日本道路建設業協会北陸支部/(一社)新潟県建設業協会/(一社)富山県建設業協会/
- (一社)石川県建設業協会/(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部/
- (一社)日本建設機械施工協会北陸支部/北陸土木コンクリート製品技術協会/
- (一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会北陸支部/北陸PC防雪技術協会/
- (一社)新潟県融雪技術協会/(一財)新潟県建設技術センター/北陸地質調査業協会/
- (一社)日本埋立浚渫協会北陸支部/(一社)北陸地域づくり協会/(一社)日本橋梁建設協会北陸事務所

■実行委員会構成員

		(D 754)	
	所属	役職	備考
委員長	北陸地方整備局 北陸技術事務所	事務所長	
副委員長	北陸地方整備局 新潟港湾空港技術調査事務所	事務所長	
委 員	北陸地方整備局 企画部 施工企画課	課長	
委 員	北陸地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課	課長	
委 員	新潟県 土木部 技術管理課	土木工事検査監	会計監査
委 員	富山県 土木部 建設技術企画課	副主幹 技術指導係長	
委 員	石川県 土木部 監理課 技術管理室	課参事	
委 員	新潟市 都市政策部技術管理センター 技術管理課	課長	
委 員	東日本高速道路(株)新潟支社 技術部 技術企画課	課長代理	
委 員	中日本高速道路(株)金沢支社 総務企画部 企画調整チーム	サブリーダー	
委 員	(一社)日本建設業連合会 北陸支部	契約積算・技術副委員長	
委 員	(一社)日本道路建設業協会 北陸支部	幹事長	
委 員	(一社)新潟県建設業協会	常務理事	
委 員	(一社)富山県建設業協会	常務	
委 員	(一社)石川県建設業協会	常務理事	
委 員	(一社)建設コンサルタンツ協会 北陸支部	広報委員長	
委 員	(一社)日本建設機械施工協会 北陸支部	普及部会担当委員	
委 員	北陸土木コンクリート製品技術協会	運営委員長	
委 員	(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会 北陸支部	広報部会長	
委 員	北陸PC防雪技術協会	事務局長	
委 員	(一社)新潟県融雪技術協会	技術委員長	
委員	(一財)新潟県建設技術センター	情報管理部長	
委 員	北陸地質調査業協会	事務局長	
委員	(一社)日本埋立浚渫協会 北陸支部	技術委員長	
委員	(一社)北陸地域づくり協会 技術部	技術部長	
委員	(一社)日本橋梁建設協会 北陸事務所	所長	

7) 聴講者数及び聴講者数の推移

■聴講者数

聴講募集を8月1日から9月16日まで行ったが、目標に達しなかったため9月30日まで延長し追加募集を実施した結果、457名の聴講者が参加した。本年度の聴講申込人数及び聴講実績人数は下表のとおりである。

【平成28年度「建設技術報告会」 聴講者集計表】

	機関・団体名					
官公庁	国交省、各県、新潟市、各市町村他	119	110			
民間		376	3 1 3			
発表者(官公庁)		6	6			
発表者(民間)		2 5	2 5			
 報道		0	3			
合計		5 2 6	4 5 7			

■聴講者数の推移

457

【過去5年の聴講者数内訳】

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成28年度
	十八八 24 十八文	十八 20 十尺	十八 20 十尺	十八五十八文	一次20千尺
開催地	金沢市	新潟市	富山市	新潟市	金沢市
国交省	65	60	70	50	35
自治体	100	93	77	33	81
民間(協会等)	336	418	293	441	341
計	501	571	440	524	457

【「建設技術報告会」聴講者数(第1回~第21回)】

回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回
年度	1995年	1996年	1997年	1998年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年
開催地	新潟市	富山市	新潟市	金沢市	新潟市	新潟市	富山市	新潟市	新潟市	金沢市
国土交通省等	39	68	112	94	100	89	72	72	80	105
自治体	39	202	116	129	69	86	87	50	31	34
民間(協会等)	189	373	430	209	364	401	471	354	360	319
学校						3		35	7	
合計	267	643	658	432	533	579	630	511	478	458
回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回	第19回	第20回
年度	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
開催地	新潟市	新潟市	新潟市	新潟市	富山市	新潟市	金沢市	新潟市	富山市	新潟市
国土交通省等	45	47	33	47	43	67	65	60	70	50
自治体	18	29	24	23	49	24	100	93	77	33
民間(協会等)	278	302	404	343	459	411	336	418	293	441
学校										
合計	341	378	461	413	551	502	501	571	440	524
回	第21回									
年度	2016年									
開催地	金沢市									
国土交通省等	35									
自治体	81									
民間(協会等)	341									
774 TT										

2. 実施内容

1) 開会式

時 間: 9時30分~9時40分

会 場:第1会場 [ホール棟1階 ホール] 開会挨拶:北陸地方整備局 企画部長 渡辺 学 司 会:北陸技術事務所 副所長 本間 政幸



青柳 孝義

小泉 倫彦

柴田 律雄

今井 茂

2)技術報告

間:9時50分~15時15分(第1会場は15時迄)

会場:第1会場[ホール棟1階 ホール] 15技術

第2会場〔会議·展示棟 2 階 大集会室〕 16技術司 会:第1会場 (一社)日本建設業連合会 北陸支部 (鹿島建設㈱)

北陸地方整備局。企画部。施工企画課。課長補佐

第2会場 (一社)日本道路建設業協会 北陸支部 (㈱ガイアート)

北陸地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課 課長補佐



第1会場 技術報告の状況



第1会場 司会進行状況



第2会場 技術報告の状況



第2会場 司会進行状況

・報告技術の募集は5月27日から6月24日まで行い、応募のあった31課題の技術報告を実施した。 <u>また、今年度は聴講者へのプレゼンデータの提供を試行し、提出のあった23課題のデータをH.P.</u> <u>からダウンロード可能とした。</u>

【報告技術一覧表】

(第1会場)

テーマ 番号	技術名	会社(機関)名
3	石川県における公共工事でのICT施工技術の活用	石川県 土木部
3	輪島道路における CIM の取組について	国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所
6	山岳トンネルの高速切羽前方探査技術	株式会社大林組 生産技術本部
(5)	下水汚泥焼却灰のアスファルトフィラー化と新たな取り組みについて	株式会社 金沢舗道 生産部
2	プローブデータを活用した冬期交通確保の検討について	国土交通省 北陸地方整備局 北陸技術事務所
2	高機能砕石マスチック舗装による凍結防止剤の効果持続性改善に関する検討	株式会社NIPPO 北信越支店
2	管底設置型下水熱融雪施設	株式会社興和 水工部
2	土系舗装施工における凍結防止対策	大林道路株式会社 技術研究所
1	フル・ファンクション・ペープの施工実績について	株式会社ガイアート技術研究所
1	プレキャストコンクリート版を採用したトンネルインバートの製造・施工報告	日本サミコン株式会社 技術部
1	耐油性および耐久性に優れたアスファルト混合物の開発	鹿島道路株式会社 技術研究所
1	塩化ビニル推進管による長距離・曲線推進工法『ベルエ法』	真柄建設株式会社 土木事業本部
1	高ひずみ樹脂による構造物の機能保持技術~タフネスコート~	清水建設株式会社 土木技術本部
4	既設構造物直下の効率的な地盤改良—FTJ—FAN工法—	株式会社不動テトラ 北関東支店
6	3Dレーザースキャナーを用いた石切り場の計測について	中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社 金沢支店

(第2会場)

テーマ 番号	技術名	会社(機関)名
1	ウォータージェット削孔による長尺補強鉄筋の挿入工法	佐藤工業株式会社 東京支店
5	泥土リサイクル技術 ボンテラン工法	株式会社宮地組
5	自然由来ヒ素汚染土壌の鉄粉による分離浄化処理工法の適用拡大	前田建設工業株式会社 本店土木事業本部
4	高圧噴射併用機械撹拌工法 L-スピンコラム工法の開発	日特建設株式会社 技術本部
5	ローカーボンハイパフォーマンスコンクリート (Low Carbon High-Performance Concrete 略称:LHC)	株式会社安藤·間 技術本部
1	シャフト式遠隔操縦水中作業機(T-iROBO UW)	大成建設株式会社 関西支店
6	ダム再開発工事における施工の合理化	鹿島建設株式会社 北陸支店
4	ブランチプロック工法	株式会社フジタ 建設本部
4	住民と行政が一体となった土砂災害対策 (緊急速報メールを活用した情報伝達手段の拡充)	石川県 土木部 砂防課
4	消波ブロック腹付け潜堤護岸の越波特性に関する水理模型実験	国土交通省 北陸地方整備局 新潟港湾空港技術調査事務所
3	海中障害物撤去ガイダンスシステム	株式会社大本組 東京本社
3	フライアッシュを有効利用した新しい土質系遮水材(HCBーF)	東洋建設株式会社 土木事業本部
3	高波浪海域で使用される無筋消波ブロック ードロスⅡ型ー	株式会社不動テトラ ブロック環境事業本部
3	水中三次元座標測量システム	株式会社本間組 土木事業本部
1	ラジコンボートを用いた港湾構造物の点検・診断システム水野	五洋建設株式会社
3	プレキャストコンクリート製品の活用と効果	国土交通省 北陸地方整備局 企画部

① 社会資本の的確な維持管理・更新	(8題)	② 雪に強い地域づくり	(4題)
③ 良いものを安く(i-Construction)	(7題)	④ 自然災害からの安全確保	(5題)
⑤ 環境の保全と創造	(4題)	⑥ その他	(3題)

3)基調講演

時 間:15時25分~16時25分

会 場:第1会場 [ホール棟 1階 ホール]

演 題:ICT 建機による建設現場の新しい生産性向上方法

講 演 者:コマツ 執行役員 スマートコンストラクション推進本部長 兼 コマツレンタル株式会社

代表取締役会長 四家 千佳史 氏

司 会:北陸技術事務所 副所長 本間 政幸



四家 千佳史 氏



基調講演聴講状況

4)技術パネル等展示コーナー

主催機関の傘下会社で開発された新技術・新工法などを対象に、展示希望を募り33社の新技術パネル展示を実施した。パネルの前面には当該技術のパンフレットや模型等を配置した。加えて「石川県 建設新技術認定・活用制度」の制度紹介及び「将来のストック効果(生産性革命 by インフラ 第4次重点計画)」のパネルを展示した。

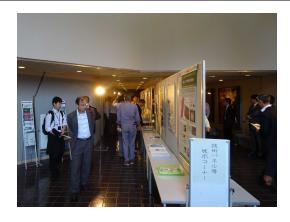
時 間: 9時00分~16時30分

会 場:第1会場[ホール棟1階 ホール]前ホワイエ・第2会場[会議・展示棟2階 大集会室]前ホール

【技術パネル等展示一覧表】

番号	出展技術	出展者	区分
1	ヒートドレッシング工法	福田道路株式会社	道路
2	管底設置型下水熱交換方式融雪施設	株式会社興和	道路
3	フレックス笠コンブロック	株式会社アドヴァンス	河川
4	ケーソン据付の安全性・施工性向上技術	株式会社本間組	港湾
⑤	浚渫底泥高圧脱水処理システム(PFP 工法:Power Filter Press)	りんかい日産建設株式会社	港湾
6	『ベル工法』 塩化ビニル推進管による長距離・曲線推進工法	真柄建設株式会社	共通
7	高ひずみ樹脂による構造物の機能保持技術~タフネスコート~	清水建設株式会社	共通
8	FTJ一FAN工法	株式会社不動テトラ	共通
9	振動式側溝撤去工法	株式会社植木組	共通
10	KS-S·MIX(大口径相対撹拌深層混合処理)工法	あおみ建設株式会社	共通
(1)	河川橋梁桁下での橋脚耐震補強をラクにした仮締切工法 ラクテック工法	東洋建設株式会社	共通
12	北陸の建設技術	「北陸の建設技術」編集委員会	共通

13	雪害・除雪記録映像アーカイブ	北陸技術事務所	道路
14)	KK 合理化継手(ナット付き鉄筋継手)を用いたプレキャスト PC 床版	川田建設株式会社	道路
(15)	NEXCO 中日本 高速道路リニューアルプロジェクト 大規模更新・修繕事業	中日本高速道路株式会社	道路
16	改質グースアスファルト混合物	大林道路株式会社	道路
17)	AKD舗装(高耐久性舗装)	鹿島道路株式会社	道路
18	サーモスカラー(瓦舗装)	株式会社佐藤渡辺	道路
19	多機能型排水性舗装(フル・ファンクション・ペーブ)	株式会社ガイアート	道路
20	凍結抑制舗装・ザペック工法タイプG	世紀東急工業株式会社	道路
21)	パイプ型落橋防止システム	東綱橋梁株式会社	道路
22	下水汚泥焼却灰のアスファルトフィラー化と新たな取り組みについて	株式会社 金沢舗道	道路
23	トンネルプレキャストインバート	日本サミコン株式会社	道路
24	トンネル工事用電気集じん器 e'-DUSCO(イーダスコ)	古河産機システムズ株式会社	道路
25	山岳トンネルの高速切羽前方探査技術	株式会社大林組	道路
26	ウォータージェット削孔による長尺補強鉄筋の挿入工法	佐藤工業株式会社	共通
27	泥土リサイクル技術 ボンテラン工法	株式会社宮地組	共通
28	高圧噴射併用機械撹拌工法 L-スピンコラム工法	日特建設株式会社	共通
29	ローカーボンハイパフォーマンスコンクリート (Low Carbon High-Performance Concrete 略称: LHC)	株式会社 安藤·間	共通
30	シャフト式遠隔操縦水中作業機「T-iROBO UW」	大成建設株式会社	河川
31)	ダムのリニューアル	鹿島建設株式会社	河川
32	ブランチブロック工法	株式会社フジタ	河川
33	ラジコンボートを用いた港湾構造物の点検・診断システム	五洋建設株式会社	港湾





技術パネル等展示コーナー

5)NETIS 等パンフレット紹介コーナー

主催機関の傘下会社で開発された新技術・新工法などを対象に、下記の国、自治体による新技術登録制度に登録された技術を対象として、配布希望を募り13技術のパンフレット配布を行った。加えて「新技術情報提供システム(NETIS)」及び「Made in 新潟 新技術普及活用制度」の制度紹介パンフレットを配布した。

・国土交通省:「新技術情報提供システム(NETIS)」 ・新 潟 県:「Made in 新潟 新技術普及活用制度」 ・石 川 県:「石川県 建設新技術認定・活用制度」 時 間:9時00分~16時30分

会場:第1会場[ホール棟1階ホール]前ホワイエ

【NETIS 等パンフレット一覧表】

番号	出展技術	出展者	区分
1	RC連結ジョイント	中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋(株)	道路
2	3次元レーザースキャナを用いた橋梁一般図作成	中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋(株)	道路
3	トンネル覆工はく落防止技術/T-FREG	佐藤工業(株)	共通
4	HIVIDAS	清水建設(株)	共通
(5)	パフェグラウト工法	日特建設(株)	共通
6	SAVE一SP工法	(株)不動テトラ	共通
7	SAVE一CP工法株	(株)不動テトラ	共通
8	CI一CMC工法	(株)不動テトラ	共通
9	ドロスⅡ型	(株)不動テトラ	港湾
10	テトラネオ	(株)不動テトラ	港湾
1)	ケーソン中詰材撤去システム	(株)本間組	港湾
12	L型ジョイントヒータ	大林道路(株)	道路
(13)	あさひⅡ型	(株)アドヴァンス	河川

6) CPD/CPDS認証プログラム

社会資本整備に携わる建設技術者の技術力向上の場として、本報告会を積極的に活用していただくことを目的に、平成20年度より一般社団法人建設コンサルタンツ協会による「CPD(継続教育)5単位」プログラム及び一般社団法人全国土木施工管理技士会連合会による「CPDS(継続学習制度)3ユニット」の認定講習の登録を行い、152名に受講証明の交付を行った。交付数は聴講者全体の33%(152/457)、民間聴講者の44%(149/341)であった。

■受講受付

時 間:9時00分~9時50分 場 所:ホール棟 1階 ホワイエ 聴講受付一受講証明書引換券配付 ■受講証明発行

時 間:16時40分~17時00分 場 所:ホール棟 1階 ホワイエ

CPD/CPDS 受付一引換券により受講証明書発行

平成 28 年度 受講証明書交付数: 152人(CPD-60人 CPDS-92人)

建設系CPD協議会による**CPD**(継続教育) 受講証を申し込まれた方へ

北陸地方建設事業推進協議会 平成28年度「建設技術報告会」

受講証明書 引換券

CPD (継続教育)

受講証明書発行 閉会式終了後(16時40分~ 17時00分)

平成28年度「建設技術報告会」実行委員会

CPD 受講証明書 引換券

(一社)全国土木施工管理技士会連合会の**CPDS** (継続学習制度) 受講証を申し込まれた方へ

北陸地方建設事業推進協議会

平成28年度「建設技術報告会」

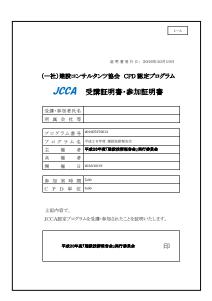
受講証明書 引換券

CPDS (継続学習制度)

受講証明書発行 閉会式終了後(16時40分~ 17時00分)

平成28年度「建設技術報告会」実行委員会

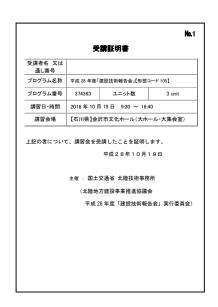
CPDS 受講証明書 引換券



CPD 受講証明書



受講証明書引換券配布状況



CPDS 受講証明書



受講証明書発行状況

7) 閉会式

時 間:16時30分~16時40分

会 場:第1会場 [ホール棟 1階 ホール]

総評·閉会挨拶:

「建設技術報告会」実行委員長 佐藤 正之

(北陸地方整備局 北陸技術事務所長)

司 会:北陸技術事務所 副所長 本間 政幸



3. 準備及び運営・設営

1)スケジュール

平成28年度「建設技術報告会」の運営は、下記のとおり実施した。

北陸	地方.	建設	事業推進	協議会	「平成28	年度 建設	技術報告	会」運営	スケジュ	ール			
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成29年1月	備考
実行委員会等													
北陸地方建設事業推進協議会運営委員会	2/:	26(金)											
実行委員会開催(会議資料作成等)			事前準備	資料作成5	月26日(木)					資料作成	12月20日(火)	
協議・決定事項等			· 規約	約、実施計画、予	算の協議・承認						· 実施結果報告.	. 決算報告 (案) 承	22
報告技術募集及び原稿作成等													
各案内用チラシ原稿作成				支術募集用	聴講	募集用							
ホームページ開設・運営			HP用元	夕作成 6月」	報告技術募集 旬 6月24日	開催告知 (金) 8月1	聴講募集 日(月)	9月30日(全	(開催	吉果 12月下旬		
報告技術募集・取りまとめ(主催機関) 技術パネル展示募集・取りまとめ(主催機関) NETIS等パンフレット紹介募集・取りまとめ(主催機関)				5月27日(金	全) 6月24日(金	<u></u> È)							
報告技術検討・選定						7月上旬							
採否通知送付(事務局)					7月4	日 (月)							
報告論文原稿、概要版作成・提出(報告技術発表者)						8月	10日 (水)						
プレゼンデータ作成・提出(報告技術発表者)								9月16日 (金)					
聴講募集 (主催機関等)						8月1日	(月) 9月		期間延長 9月30日 (金)				
報告論文集 (PDF) 作成 (HP掲載)							校正:申	文集作成 ● 報 9月中旬 9月	文集HP掲載(ブレ 20日(火)	ゼンデータは資料	まとまり次第)		
その他													
基調講演者依頼・報道投込み			基調講演講 4月中旬	師選定検討・依頼 5/	/26(木)				●報道関係へ打 10月12日 (水)	受げ込み			
CPD/CPDSプログラム登録申請						7月27日(水)登録	東完了						
会場設営・準備								10)	● 月18日 (火)				
報告会開催									★ 10,	/19(水)			

2) 主な経緯

会 議 名 等	実施日時	会 場	内 容
平成 28 年度 北陸地方建設事業推進協議会運営委員会	平成 28 年 2 月 26 日 (金)	北陸地方整備局 会議室	「建設技術報告会」の開催承認
平成 28 年度「建設技術報告会」 第 1 回実行委員会	平成 28 年 5 月 26 日 (木) 14 時 00 分~15 時 30 分	新潟国道事務所 B棟会議室	規約(案)の協議・承認 実施計画(案)の協議・承認 予算(案)の協議・承認
平成 28 年度「建設技術報告会」開催	平成 28 年 10 月 19 日(水) 9 時 00 分~16 時 30 分	金沢市文化ホール ホール棟 ホール 他	報告会開催
平成 28 年度「建設技術報告会」 第 2 回実行委員会	平成 28 年 12 月 20 日 (火) 13 時 30 分~15 時 00 分	北陸地方整備局 新潟国道事務所 B棟大会議室	実施結果報告 収支報告 次回開催について

3)運営体制

報告会当日は、別途契約の設営会社及び主催構成機関・団体からの運営スタッフ 30 名(官:12 名、民:18 名)の協力により実施した。

【機関・団体別 スタッフ人数】

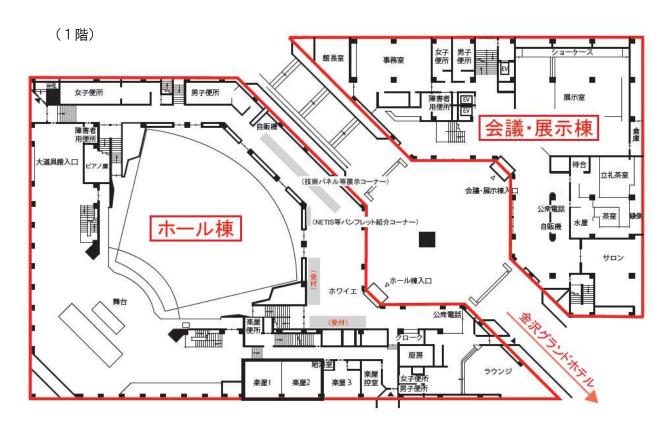
			E DOOL O										
	国土交通省	1 北陸地方整位	備局			主	催協	力機関	・団体	本			
企画部 施工 企画課	港湾空港部 海洋環境 ・技術課	新潟港湾空港 技術調査 事務所	北陸 技術 事務所	小計	石川県	石川建協	日建連	道 建 協	建 機 協	建コン協	埋浚協	小計	合 盐
4	2	2	4	12	5	4	3	2	1	1	2	18	30

【運営体制表】

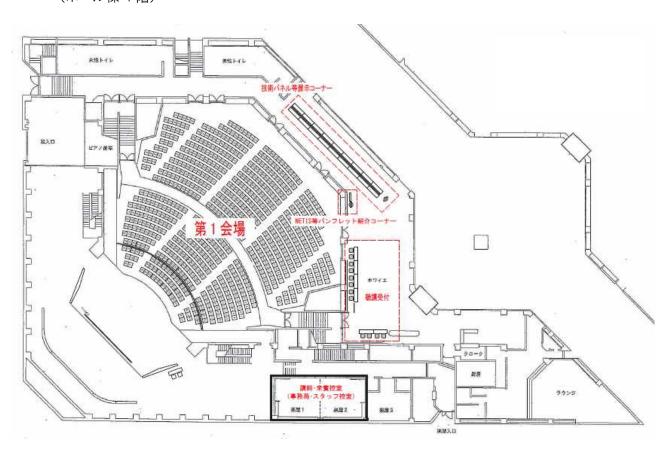
				1								
	担当・時間・会場等		運営	北陸地整	石川県	石川建協	日建連	道建協	建機協	埋浚協	建設コン	
			人員	12人	5人	4人	3人	2人	1人	2人	1人	
受付開始~基調講演終了まで				棒田大介	地中浩							
聴講受付係	受付開始~開会式	ٹ終了まで		12		… 辨谷直樹	····· 原陽子 ····· 坂本淳司	平本慶枝	徳山幸子	坪内昭雄	志村洋平	,大蔵欣司
					;:· (小泉倫彦)	岩淵一貴	宮下美鈴					
CPD/CPDS 受講証明発行	閉会式終了~17:0	0まで	_	6	· (秋濃宏至) · (竹島義宏) · (今井茂) · (森内政弘) · (栂坂清嗣)							
		第一会場	I・Ⅱ グルーフ゜	2				青柳孝義				
	= 0.15		Ⅲ・IVケルーフ°] _	… 小泉倫彦 …							
	司会係	第一	I・Ⅱ グループ	_					柴田律雄			
++ 4= ±0 /+		第二会場	Ⅲ・IVケルーフ°	2	今井茂							
技術報告		W 0.18	I・Ⅱ グルーフ゜				(原陽子)					
	at 88 M 777 /7	第一会場	Ⅲ・IVグルーフ°	2		(辨谷直樹)						
	時間管理係		I・Ⅱ グルーフ゜				(坂本淳司)					
		第二会場	Ⅲ・IVグルーフ°	Ⅲ・Ⅳ ケルーフ゜ 2		(岩淵一貴)						
会場照明係		第二会場		1							(志村洋平)	
一/与亚连体/	- > /5	第一会場		3			…(宮下美鈴)			… (坪内昭雄)		(大蔵欣司)
マイク受渡係/パン	コン1糸	第二会場		2				小川晃市	(徳山幸子)			
写真係		全体 開閉会式·基調講	演	2		高田允伯 八尾満						
プ兵派		第一会場	第一会場			…(高田允伯)						
		第二会場		1		···· (八尾満)						
	開閉会式·基調講	演司会係		1	本間政幸…							
	来賓対応係			1	堤雄生							
	接遇係(来賓•講師	Ħ)		1	松本希菜							
	マスコミ対応			(堤雄生)… (本間政幸)… (小泉倫彦)… (今井茂)…								
事務局	連絡調整係			2	外山豊 … 福島徹 …							
	運営·設営係	第一会場 配置替え	開閉会式基調講演	6	··· 秋濃宏至 ··· 秋鳥義政 ··· 森内政清嗣 ··· 清水美代						本保寿拡	
		パネル撤収		2	(外山豊) ···· (福島徹) ·····							
17.40.04			(1田四郎/									

4)会場設営

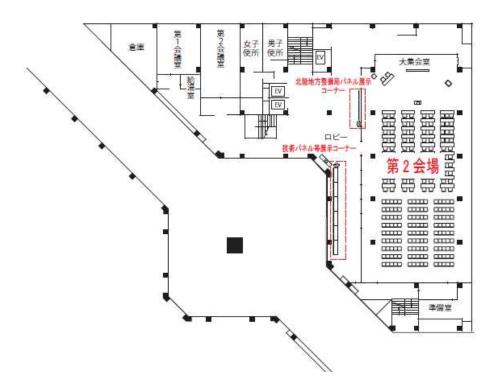
■フロアマップ 使用会場の位置を示す。



(ホール棟 1階)



(会議・展示棟 2階)





①開催案内



②アンケート回収箱



③スタッフミーティング



④聴講者受付状況



⑤NETIS 等パンフレット紹介コーナ-



⑥聴講者質問状況



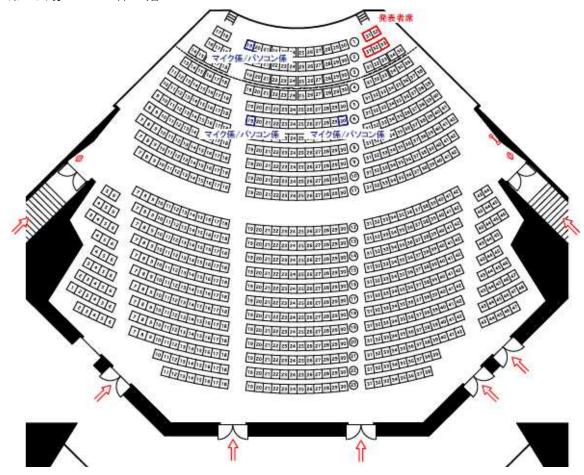
⑦設営状況(第1会場)



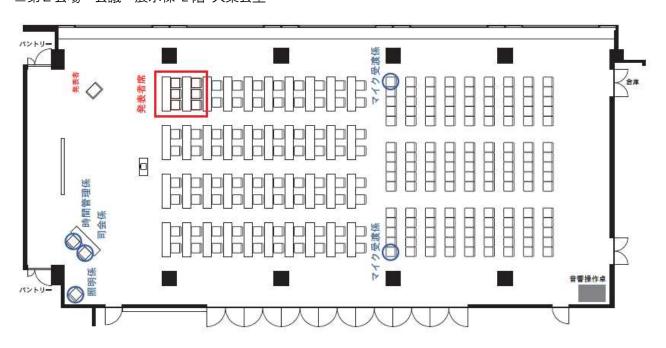
⑧撤収状況(ホール棟 1階 ホワイエ)

■会場詳細レイアウト図ー技術報告時ー

■第1会場:ホール棟 1階 ホール



■第2会場:会議·展示棟2階大集会室



4. 広報

1) 広報活動

	種別·内容	方 法	時 期	摘要
	報告技術募集 (電子データ北技HP掲載)		5月27日~6月24日	主催機関・団体
チラシ配布	聴講募集 (紙・電子データ)	配布·募集	8月1日~9月30日	主催機関・団体、近隣整 備局、近県、石川県内市 町、学校関係他
記者クラブ	新潟県政記者クラブ 新県政記者クラブ 富山県政記者クラブ 石川県政記者クラブ 長野市政記者クラブ 福島県政記者クラブ 福島県政記者クラブ 福井県政記者クラブ	資料配付	10月12日(水)	開催概要プログラム
ホームページ	北陸技術事務所	開設・運用	5月27日~(報告技術募集) 8月1日~(聴講募集)	
	各主催機関・団体		適宜	
FaceBook	北陸技術事務所	運用	5月27日~(投稿数10回)	

2) 広報等掲載一覧

■新聞報道

掲載紙	発行機関	掲載月日
通信建設新聞	日刊建設通信新聞社	平成 28 年 8 月 31 日 (水)
日刊建設工業新聞	日刊建設工業新聞社	平成 28 年 10 月 13 日 (木)

■定期刊行誌

, _, , , , , , , , , , , , , , , , , ,		
掲載紙	発行機関	掲載号
		6月号(報告技術募集)
北陸の建設技術	北陸地方建設事業推進協議会	8月号(聴講募集)
		12月号(開催結果)
建設マネジメント技術	(一財)経済調査会	2月号(開催結果)<予定>

※来年度、各団体が発行する定期刊行誌への掲載のご検討をお願いします。

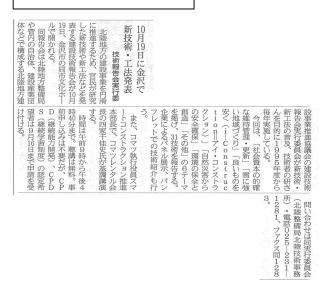
■ホームページ

掲載機関	掲載コンテンツ
(一社)日本建設機械施工協会北陸支部	「トップ(バナー掲載)」
(一社)石川県建設業協会	「What's New」、「トップ(バナー掲載)」
(一社)新潟県融雪技術協会	「トップ(バナー掲載)」
(一社)北陸地域づくり協会	「お知らせ」、「トップ(バナー掲載)」
国土交通省北陸地方整備局	「トップ(バナー掲載)」
国土交通省新潟港湾空港技術調査事務所	「トップ(バナー掲載)」
国土交通省北陸技術事務所	「トップ(バナー掲載)」
金沢コンベンションビューロー	コンベンションスケジュール
金沢市文化ホール	イベント情報

※引き続きHPでの広報にご協力お願いします。また、今回、掲載のなかった団体等も来年度はご検討をお願いします。

■新聞掲載事例

建設通信新聞 8/31

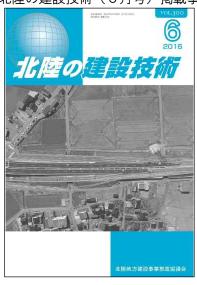


日刊建設工業新聞 10/13



■定期刊行誌 掲載事例

◆北陸の建設技術(6月号)掲載事例(報告技術募集のお知らせ)





◆北陸の建設技術(8月号)掲載事例(聴講者募集のお知らせ)





◆北陸の建設技術(12月号)掲載事例(開催結果)











■FaceBook 掲載事例(https://www.facebook.com/fairhokuriku/)



投稿日	内 容	配信者数(人)	いいね数(人)
5/27	報文募集開始	245	10
6/27	報文募集締切	239	12
8/1	聴講募集開始	206	7
9/1	報文ウェブサイトヘアップ	281	11
9/6	よくある問い合わせ回答	166	2
9/12	基調講演等紹介	173	7
9/20	聴講申込期限延長	164	7
10/3	聴講申込締切	99	5
10/14	プレゼン資料ウェブサイトへアップ	147	6
10/19	当日開催状況	89	4
	合計(延べ)	1, 809	71

◆HP掲載事例(バナー掲載)



北陸技術事務所



石川県建設業協会



新潟県融雪技術協会



新潟港湾空港技術調查事務所

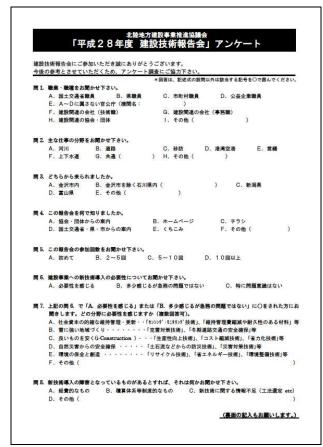


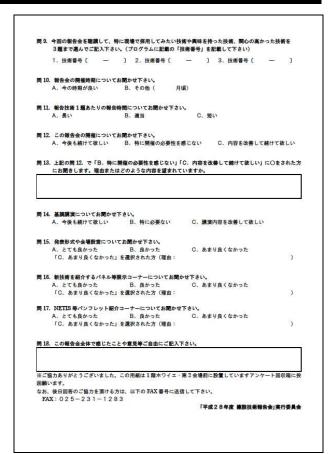
北陸地域づくり協会

5. アンケート

次回以降の開催の参考とするため、聴講者を対象にアンケート調査を実施した。

1)設問内容





(表面) (裏面)

2)配布・回収

アンケートは受付時に聴講者に配布し、第1会場前ホワイエ及び第2会場前ロビーに設置した回収箱により回収を行った。 なお、アンケート回収率は以下のとおりである。



	官公庁	民間	計
配布数	93	293	386
回答数	53	172	225
回収率	57%	59%	58.3%
回答割合	24%	76%	100%

※発表者・報道・スタッフ除く

3)アンケート結果概要

○今後の報告会の開催について

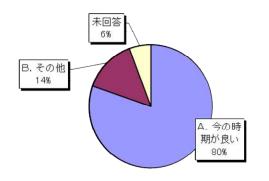
・9割以上が、「今後も継続して欲しい」と回答



A. 今後も続けて欲しい	215
B. 特に開催の必要性を感じない	0
C. 内容を改善して続けて欲しい	4
未回答	4
	223

○報告会の開催時期について

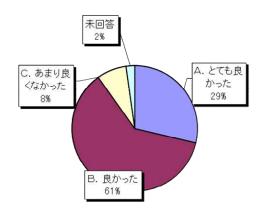
・8割が「今の時期が良い」と回答



A. 今の時期が良い	184
B. その他	32
未回答	13
	229

○報告会の報告形式や会場設営について

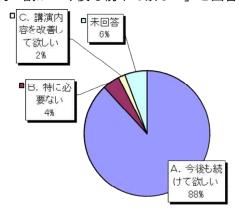
・9割が「とても良かった」「良かった」と回答



A. とても良かった	64
B. 良かった	137
C. あまり良くなかった	17
未回答	5
	223

○基調講演について

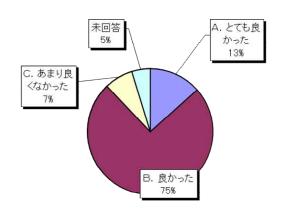
・約9割が「今後も続けて欲しい」と回答



A. 今後も続けて欲しい	200
B. 特に必要ない	10
C. 講演内容を改善して欲しい	4
未回答	13
	227

○技術パネル等展示コーナーについて

・9割が「とても良かった」「良かった」と回答



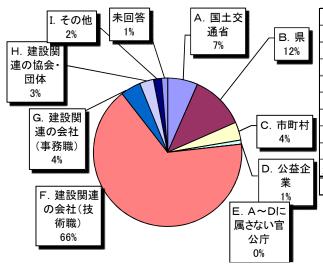
A. とても良かった	31
B. 良かった	172
C. あまり良くなかった	17
未回答	11
	231

○この報告会全体で感じたことや意見等の自由意見(今後の課題等抜粋)

- ・今まで聞くことのできなかった新技術手法を聞くことができ参考になった。また、地域に応じた手 法で参考になった。良かったです。
- ・技術提案や創意工夫のヒントとなり、大変良かったと思います。
- ・コマツの四家様の講演は、建設業の明るい未来を示しており大変素晴らしかった。我々も未来に向かって進みたい。(同様意見外6件)
- ・基調講演は新潟方面に帰る電車の時間の制約があり聞けなかった。開会式直後に実施願います。(同様意見外1件)
- ・第2会場のPPが視認しづらい。平面的な会場なのでやむを得ない所であるが、工夫がほしい。
- 第2会場にはサブディスプレイがほしい。
- ・配布資料だけでなく、発表用パワーポイントの資料も公開 (web)をお願いしたい。(同様意見外 2 件)
- ·できれば無料の駐車場があるところがいい。(同様意見外3件)

4) 設問別集計結果

問1.職業・職種をお聞かせ下さい。

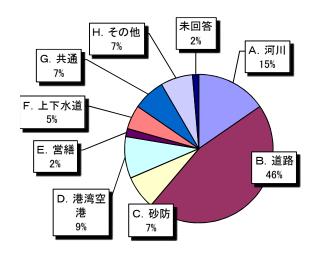


Α.	国土交通省	15
В.	県	27
C.	市町村	9
D.	公益企業	2
E.	A~Dに属さない官公庁	0
F.	建設関連の会社(技術職)	151
G.	建設関連の会社(事務職)	10
Н.	建設関連の協会・団体	7
١.	その他	4
未回]答	3
		228

その他

- ・総合土木コンサルタント(1)
- ・材料メーカー(1)
- ・コンクリート二次製品製造・販売(1)
- ・不明(1)

問2. 主な仕事の分野をお聞かせ下さい。



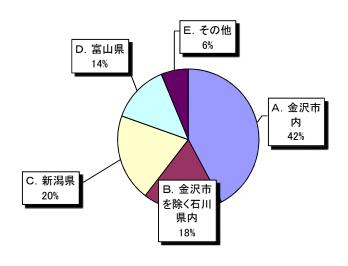
【複	<u> 数回答有】</u>
A. 河川	44
B. 道路	131
C. 砂防	21
D. 港湾空港	26
E. 営繕	5
F. 上下水道	15
G. 共通	20
H. その他	20
未回答	4
	286

共通

- · 都市計画 (1) · 都市計画 · まちづくり(1)
- ・研究(1) ・工事検査(1) ・土木(1) ・土木全般(1) ・コンクリート(1) ・機械(1) ・管理(1) ・不明(11)

- ・営業(2)
 ・橋梁(2)
 ・廃棄物(1)
 ・鋼橋(1)
 ・農業土木(1)
 ・積算(1)
 ・地質調査(1)
 ・技術全般(1)
 ・測量(1)
 ・機械、電気(1)
 ・情報(1)
 ・通信土木(1)
- · 不明(4)

問3. どちらから来られましたか。



A. 金沢市内	95
B. 金沢市を除く石川県内	41
C. 新潟県	45
D. 富山県	30
E. その他	14
	225

金沢市を除く石川県内

· 白山市(4) · 能美市(2) · 羽咋郡(1)

·七尾市(3) · 穴水町(2) · 不明(14)

· 小松市(3) · 珠洲市(1)

・野々市市(3)・加賀市(1)

·志賀町(3) ·羽咋市(1)

·輪島市(2) ·内灘町(1)

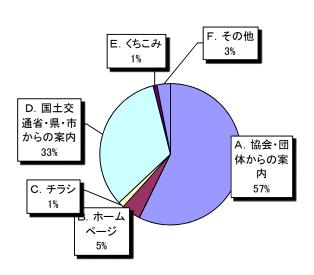
その他

·東京(6) ·福井(1)

· 栃木(4) · 大阪(1)

· 山形(1) · 不明(1)

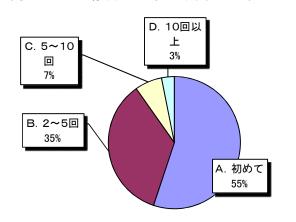
問4. この報告会を何で知りましたか。



【複	数回答有】
A.協会・団体からの案内	130
B. ホームページ	10
C. チラシ	3
D. 国土交通省・県・市からの案内	75
E. くちこみ	2
F. その他	7
	227

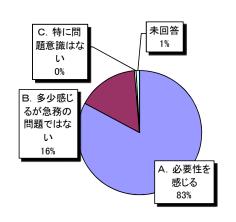
- · 会社(6)
- ・不明(1)

問5.この報告会の参加回数をお聞かせ下さい。



A. 初めて	124
B. 2~5回	79
C. 5~10回	15
D. 10回以上	7
	225

問6. 建設事業への新技術導入の必要性についてお聞かせ下さい。



A. 必要性を感じる	188
B. 多少感じるが急務の問題ではない	36
C. 特に問題意識はない	1
未回答	2
	227

問7. どの分野に必要性を感じますか。

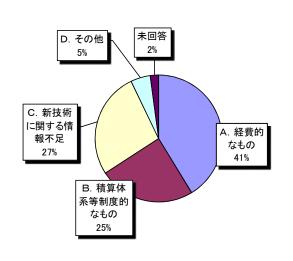
E. 環境 保全と創 13%	F. その他 1%	回答	A. 社会資本の的確な維持管理・ 更新 32%
	C. 良いもの を安く (i-construction) 28%		3. 雪に強 地域づくり 10%

【複	[数回答有] _
A. 社会資本の的確な維持管理・	151
更新	
B. 雪に強い地域づくり	46
C. 良いものを安く	134
(i-construction)	
D. 自然災害からの安全確保	/1
E. 環境の保全と創造	64
F. その他	3
未回答	6
	475

その他

- ·技術者不足対策
- ・安全対策
- ・事業との比重は同程度に扱うべき(当面は)

問8. 新技術導入の障害となっているものがあるとすれば、それは何かお聞かせ下さい。

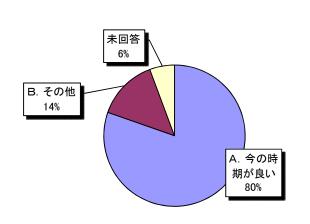


A. 経費的なもの	116
B. 積算体系等制度的なもの	69
C. 新技術に関する情報不足	76
D. その他	14
未回答	6
	281

【複数回答有】

- ・性能性の適否、根拠
- ・発注者、特に現場、工事事務所側の意識、採用基盤
- ・自治体の認識不足。自治体内部の縦割体制
- ・使って安心の保証。発注者の姿勢。
- ・新技術導入の意識
- ・耐久性への不安
- ・①既存の手法(前例)を否定しづらいこと。②ほとんどの"新技術"にはデメリットがあり、不採用の理由となってしまうこと。③"新技術"を前面にすると、入札が難しい。
- ・専門知識を有する人材不足
- ・人的不足
- ・実際の現場での導入は、NETIS登録されているか という観点もある
- ・1社指定になってよいのか
- ・開発に専門に携わることのできる人員不足
- ・国交省内での評価とその評価項目
- ・本当に良いものかどうかがわからない
- 26-

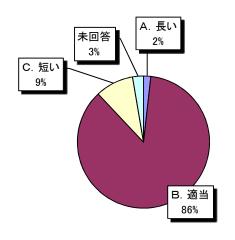
問10. 報告会の開催時期についてお聞かせ下さい。



A. 今の時期が良い	184
B. その他	32
未回答	13
	229

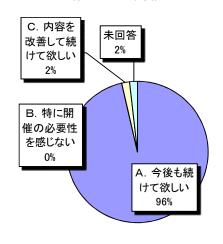
- ·1~2月(1)
- ・11月(1)
- ・4月(7)
- ・12月(2)
- · 4~6月(1)
- ・5月(13)
- ·5~6月(1)
- · 6月(4)
- ·7月(1)
- ・8月(1)

問11.報告技術1題あたりの報告時間についてお聞かせ下さい。



A. 長い	4
B. 適当	194
C. 短い	21
未回答	6
	225

問12.この報告会の開催についてお聞かせ下さい。

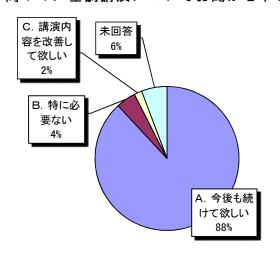


A. 今後も続けて欲しい	215
B. 特に開催の必要性を感じない	0
C. 内容を改善して続けて欲しい	4
未回答	4
	223

問13. 問12で「B」または「C」と答えた方にお聞きします。 理由またはどのような内容を望まれていますか。

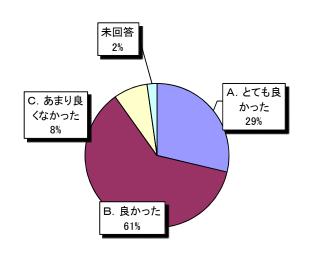
- ・新技術を最優先して発表して欲しい
- ・場所を郊外に変えて欲しい
- ・分野が限定されている
- ・マンネリにならないこと

問14. 基調講演についてお聞かせ下さい。



A. 今後も続けて欲しい	200
B. 特に必要ない	10
C. 講演内容を改善して欲しい	4
未回答	13
	227

問15. 発表形式や会場設営についてお聞かせ下さい。

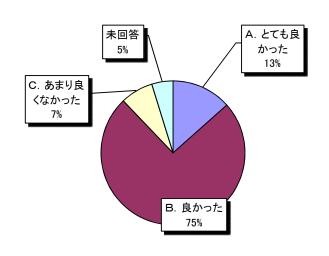


A. とても良かった	64
B. 良かった	137
C. あまり良くなかった	17
未回答	5
	223

Cの理由

- ・駐車場がない(2)
- ・駐車場があるところ(1)
- ・駐車場が不便(1)
- ・駐車場に問題あり(1)
- ·狭い、駐車場がない(1)
- ・場所が適切でない(1)
- ・会場間が距離がある(1)
- ・会場が広すぎた。(1)
- ・座席数が少ない(1)
- ・第1会場の前側だけでは、圧迫感がり、暑かった。(1)
- ・全ての発表が聞けないため(1)
- ・前方に人を集めたため狭かった。(1)
- ・会場設備に差がありすぎのため(1)
- ・聞きたい演目が重なっていたりするので、移動時間が少ない(1)
- ・テーブルがなくて不便(1)
- ・パネル展示コーナーをふやしてほしい(1)

問16.新技術を紹介するパネル展示コーナーについてお聞かせ下さい。

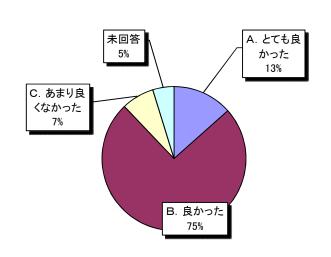


A. とても良かった	31
B. 良かった	172
C. あまり良くなかった	17
未回答	11
	231

Cの理由

- ·狭い(3)
- ・通路が狭く、じっくりと見れない(1)
- ・もう少しスペースを拡大して欲しい(1)
- ・展示コーナーが狭く、2ヵ所に分かれていた(1)
- ・会場が2会場となっており、第2会場がさびしくうつった(1)
- ・ただ展示してあるだけのうように感じた(1)
- ・説明員がいれば良い(1)
- ・理解が難しい(1)
- ・メーカーのカタログ商品が主であったため(1)
- ・展示物が少ない(1)
- · 不明(5)

問17. NETIS等パンフレット紹介コーナーについてお聞かせ下さい。



A. とても良かった	30
B. 良かった	169
C. あまり良くなかった	15
未回答	18
	232

Cの理由

- ・目立たない(2)
- ・分かりにくい。もう少し大々的にやってみたほうが良いと思われる(1)
- ・もう少しスペースを拡大して欲しい(1)
- ・紹介数が少ない(1)
- ・少ししかなかった(1)
- ・欲しい技術がなかった(1)
- ・広く色々な工法パンフレットの設置があったほうが良い(1)
- ・もう少しとりやすく平置きが良い(1)
- ・パンフレットのみ置いてあったため(1)
- ・分野が限定されている(1)
- · 不明(4)

問18.この報告会全体で感じたことや意見等ご自由にご記入下さい。

<開催時期関係>

- ・開催時期5~6月→他の地整でも同時期の展示会が多い為
- ・けんせつフェアと一緒にしたらどうでしょうか

<会場関係>

- ・第1会場と第2会場の差が気になった。(規模、明るさetc・・・)
- ・できれば無料の駐車場があるところがいい
- ・駐車場の広い場所が必要です。(会場)
- ・駐車場が無料な会場が良い
- ・新潟から金沢は遠いです。
- ・タバコの煙がロビー内まで流れていました。喫煙所については再考がよいかと思いました。
- ・駐車場がある会場で設営してほしい

<基調講演関係>

- ・基調講演は特に良かった
- ・基調講演は先にしてほしい
- ・基調講演は新潟方面に帰る電車の時間の制約があり聞けなかった。開会式直後に実施願います。
- ・基調講演がとても参考になった。もっと詳しく聞いてみたい。
- ・基調講演が良かった。
- ・コマツの四家様の講演は、建設業の明るい未来を示しており大変素晴らしかった。我々も未来に向かって進 みたい。
- ・基調講演(コマツ)が大変よかった。
- ・基調講演が非常に良かったです。(スマート・コンストラクション)
- ・コマツがすごい。

<技術報告関係>

- ・2つの会場を選択できるのが非常に良い
- ・報告時間短い→入退室、質疑・応答含めて20分は必要。
- ・配布資料だけでなく、発表用パワーポイントの資料も公開(web)をお願いしたい。
- ・第2会場のPPが視認しづらい。平面的な会場なのでやむを得ない所であるが、工夫がほしい。
- ・第2会場にはサブディスプレイがほしい
- ・質問する人が少ないので検討してほしい。
- ・論文概要は、画像挿入を義務化してはどうか?
- ・女性の発表があっても良いと感じた。
- ・1グループ3テーマとし、各20分とした方がバタバタしないと感じます。
- ・報告時間短い→+3分
- ・聴講したい技術がかぶってしまい片方しか聴講できなかった。
- ・内容や報告時間も適当であり、参加し良かったと思います。
- ・パワーポイント資料もあれば良かった。
- ・業務の改善へつながるような事例を聞くことができたのが良かった。
- ・若い技術者には発表の場として、とてもよいと思います。最後に質疑の時間をとるかパネルディスカッションがあってもいいと思います。
- ・今まで聞くことのできなっかた、新技術手法を聞くことができ参考になった。また、地域に応じた手法で参考になった。良かったです。
- ・資料を各自印刷してくる旨の表示を目立つようにしてほしい。人に言われて気がついた。
- ・一部司会者の態度が気になった、横柄だと思う。
- ・著作権等の関係もあると思いますが発表の動画や資料のPDF等をNETで公表して頂けるとありがたい。

<その他>

- ・勉強になりました
- ・今後建設業界も封建的に、すそのを広げIT的に進展する必要性を感じた。
- ・今後、何らかの形で参考にしたい
- ・新技術はPDCAが大切、まず発注者が設計に取り込む、使ってみて、何より、評価、検証すべき、そして改善、とかくCAが欠落しがち。
- ・とても有意義な報告会であると感じた。
- ・一般(建設以外)も多く参加できる仕組みづくりをしていただきたい。
- ・未来を感じた。
- ・技術提案や創意工夫のヒントとなり、大変良かったと思います。
- ・最新の技術情報を得る良い機会となりました。
- ・設営等スタッフの皆様、お世話になりました。
- ・久々に参加したが充実した発表内容だったと思います。
- · CPDS受講証明書を午前、午後2回にわけてほしい
- 良い
- ・コンサルタントの方が、もう少し多く来てくれればと思いました。
- ・このような機会があれば参加したい
- ・今後の仕事での参考にしていきたいと思った
- ・若い人材の不足